

中学部の取組

中学部の進路学習では、1年生から段階的に、自分や友達の得意なことや中学部卒業後に必要な力について知る学習を取り入れています。

中学部になると、**作業学習**が始まります。作業学習では、物作りやリサイクルなどの作業を通して、長時間働く経験をしたり、働く上で必要とされるマナーや態度について知ったりして将来の職業生活の基礎となる力を養います。はじめは長い時間集中して作業をすることが難しかった1年生も、次第に集中できる時間が増えたり、できる作業が増えたりすることで、働く楽しさを感じるようになります。



今年度からの試みとして、2度の作業学習週間の期間中に**高等部の校内実習を見学・体験**する機会を設定しました。6月の前期作業学習週間には、高等部の校内実習の様子を見学しました。張り詰めた空気の中での校内実習に、「集中して取り組んでいて、すごいと思いました」等の感想が多く聞かれました。また、11月の後期作業学習週間には、2つのグループに分かれて、実際に校内実習に参加しました。体験することで、高等部生の校内実習への真剣さを実感することができ、貴重な体験となりました。



3年生になると、**高等部の学習内容や生活の様子についての説明会**が行われます。高等部の学習内容や生活についてスライドを見たり、見学・体験したりすることを通して、高等部進学への期待感が高まりました。



このように、中学部では生徒が自分のできることをさらに伸ばしたり、中学部卒業後の生活に期待感をもって学習に取り組んだりしていけるよう、進路学習を進めています。